

学習発表会実践報告 第4学年

1. 教科 総合的な学習の時間

2. 単元名「一之江防災アクション！」

3. 単元の目標

自然災害から人々を守る活動について、過去に発生した東京都の自然災害について調べたり、今後想定される自然災害への様々な備えを理解したりして、自然災害から自身の安全を守り、自然災害の備えに取り組もうとする態度を養う。

4. 防災教育との関わり

「防災ノート」を活用し、身近な自然災害から自身の安全を守ることや、自然災害の備えへの関わり方、自分たちに何ができるかを考え、主体的に追究できるようにする。

5. 単元指導計画

時	内容 ○目標	防災との関わり ●防災教育の目標
1	○自然災害の種類を知る。 ・「防災ノート～災害と安全～」の動画を見て、災害の種類や特徴を見つける。	●「防災ノート～災害と安全～」の動画から、災害の種類（地震、大雨、台風等）を知り、特徴を確かめる。
2	○調べる自然災害のテーマを決め、学習計画を立てる。 ・自分が調べたい自然災害のテーマを選ぶ。 ・誰がどんなテーマを調べるか話し合う。	●自分たちで自然災害や、それへの備えを調べる計画を立てる。
3	○自分が調べるテーマについて、どうやって調べるか考えて学習を進める。 ・インターネットや本、防災ノート、マイタイムライン等、調べる物がたくさんあることを知る。	●防災ノートやマイタイムライン、ハザードマップ等、活用できるものが身の回りであることを知る。
4	○自分が調べたことをグループの中で発表し、何を伝えればよいか話し合う。 ・自分のテーマを基に、グループの友達に調べたことを発表する。	●友達が調べた自然災害や防災について知る。
5	○ポスターの割り付けを考え、下書きをする。 ・調べたことを効果的に伝える方法を考える。	●自然災害の特徴と防災という視点からポスターにまとめる。
6	○発表の仕方を考え、発表原稿をつくる。 ・自分がみんなに伝えたいことは何なのか考え、発表原稿を自分でつくる。	●自然災害や防災について、自分が伝えたいことを効果的に伝える方法を考える。

7	○学習発表会に向けて、発表練習をする。 ・グループごとに動画を撮って、確認する。	●効果的に伝える方法を工夫し、防災に関係する実物を使用しながら発表する。
8 9	○学習発表会で、発表する。 ○他のグループの発表を聞き、感想や学んだことをまとめる。 ・グループの発表を聞き、学んだことをワークシートに書く。	●ヘルメットや合羽、非常食等を示しながら、お互いの発表を聞いて、防災についての意識を高める。

6. 本時

(1) 目標

- ・東京都で起きた自然災害について理解する。
- ・今後想定される自然災害への備えについて理解する。

(2) 展開

学習活動	指導上の留意点
1 グループごとに自然災害の発表を行う。 〈グループごとの内容〉 ①水害 ④台風 ②地震 ⑤雷 ③津波 ⑥大雪・あられ	・グループごとに各自作成したワークシートを配るよう指示する。
2 各グループの発表を聞きながら、ワークシートを埋める。 〈ワークシートの内容〉 ・東京都で起きた自然災害について ・自然災害から身を守るために備えるべきこと。 ・黒板に掲示したポスターの内容でみんなに知ってもらいたいこと。	・ヘルメットや合羽、非常食等を示して、家庭で備えるべきものを説明してもよいこととする。
3 学習カードに今日の振り返り及び感想を書く。	・今日の学習で大事だと思ったことや、これから備えていきたいことを書けるように、学習カードを配る。

(3) 評価

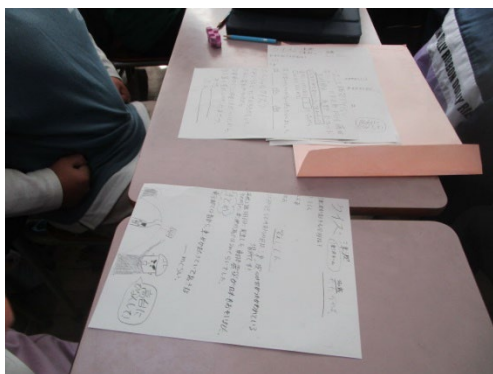
- ・東京都で起きた自然災害について理解している。(発表、ポスター、ワークシート)
- ・今後想定される自然災害への備えについて理解している。(発表、ポスター、ワークシート)

8. 授業の実際



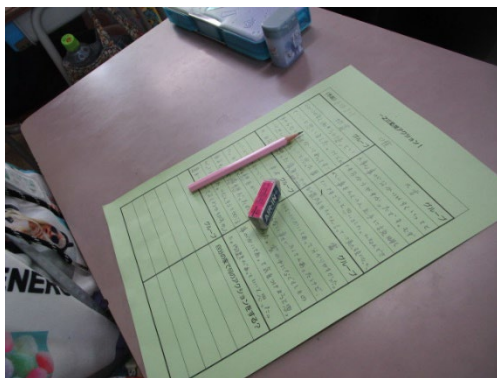
ポスター発表

各グループ、調べた内容をポスターに書き、発表しました。全員が活躍できるよう、分担しました。本番では、ヘルメットや合羽、備蓄用品など実物を見せながら発表するグループもありました。パワーポイントで画像や動画をみんなに見せながら、説明することもできました。



児童が作成したワークシート

各グループごとにワークシートを作成しました。クイズや穴埋めを入れることで、クラスのみんなが楽しく発表を聞くことができました。



学習カード

各グループの感想を学習カードに書きました。大切だと思ったことや、これからの生活に生かしていきたいことをまとめることができました。

7. 成果

この学習を通して、自然災害は身近に起こりうること、自然災害から身を守る方法や備えについて、理解を深めることができた。また、グループを6つの自然災害に分けたことで、それぞれの避難方法や備えに共通していることや、違いを比べられた。児童は、必要な情報を取捨選択しながら、他グループにポスターやワークシート、ICTを活用し、発表することができた。